

We Love KAJIKAWA

加治川を愛する会

揮毫：渡辺 蕉風

vol.14

●発行責任者●
会長 鬼嶋 正之
●編集責任者●
事務局 山宮 義正
TEL.FAX 0254-22-2096
印刷 (株)天野印刷



加治川の桜

加治川堤より二王子岳を望む

会員の皆さんお元気ですか。皆さんはすでにご存知のように、この春に会長はじめ幹事全員が次の世代の若い人に席を譲りました。要するに組織というものはある程度の時間を経たら新しい息吹きを注入していかないと駄目だということで、幹事全員の賛同を得た上で世代交代を図ったということです。新しい幹事の活躍を期待したいと思います。前幹事の皆さんには、会発足の当初から植樹、その管理、そして会の運営のために骨身を惜しまず一生懸命やっていたいただいたことには頭が下がります。本当にご苦労さまでした。先日所用で新潟に行つた折、時間に二時間ほどの余裕が出来たので、加治川堤まで車をとばして行つて来ました。

加治川治水記念公園から右方の道賀辺のエリアは相変わらず未成長の木が見られました。私たちが桜への想い、清流加治川への想い、生まれ育った土地への想いは、今確かなかたちで継承されつつあることを実感しました。今年の花見ウォークには例年のように幾つかの小学校の生徒たちが参加して桜の植樹をしてくださいました。本当に嬉しいことです。

想いを伝えてゆくこと、心を継いでゆくことの大切さをあらためて感じると同時に、そのことを教えてくれた加治川の桜に、私は感謝したいと思つています。

加治川の桜よ、ありがとう。そして私は今日まで、会員であらうとなかろうとこの加治川の桜に関心を持ち、関わつて来られたすべての人たちに感謝したいと思つています。加治川の桜はこの地域のすべての人たちの共通の財産です。この大勢の人たちの心の財産をこれからも大切に守り、愛していきたいと切に願っています。



たかたき 名誉会長

「加治川を愛する会」 役員名簿 (平成24年4月)

・名誉会長	・参	・副	・会	・幹
・顧問	・与	・長	・長	・事
たかたかし	宮川 智昭	鬼嶋 正之	長谷川 良男	事務局 長
二階堂 馨	高橋 公則	田中 正夫	二宮 正光	事務局 次長
渡辺 廣吉	長谷川 栄作	鬼嶋 正之	増子 英雄	会計 監査
近 寅彦	高橋 公則	田中 正夫	花野 忠二	・幹
	宮川 智昭	鬼嶋 正之	山宮 義正	・事
	長谷川 栄作	田中 正夫	鈴木 光子	・計
	高橋 公則	鬼嶋 正之	村山 良雄	・監
	宮川 智昭	田中 正夫	関川 弘夫	・査
	長谷川 栄作	鬼嶋 正之	石井 愛	
	高橋 公則	田中 正夫	園部 賢一	
	宮川 智昭	鬼嶋 正之	磯辺 孝栄	
	長谷川 栄作	田中 正夫	板垣 克彦	
	高橋 公則	鬼嶋 正之	新保 健	
	宮川 智昭	田中 正夫	渋谷 勘市	
	長谷川 栄作	鬼嶋 正之	風間 和好	
	高橋 公則	田中 正夫	吉田 定雄	
	宮川 智昭	鬼嶋 正之	富樫 繁一	

新入会員

スタッフ皆さんの努力で「加治川を愛する会」の主旨にご賛同いただき、127名の大勢の方々に加入していただきました。会員数は8月1日現在、376名です。今後多くの方に加入して頂けるよう、努力致します。



- ### 加治川を愛する会 会則
- 第一条 (名称)**
この会の名称は「加治川を愛する会」と称する。
- 第二条 (事務局)**
この会の事務局は、新発田市内に置く。
- 第三条 (目的)**
この会は、かつて桜の名所であったふるさと加治川に想いを寄せ、加治川の桜並木復元・環境整備を積極的に推し進めて、美しい自然を次の世代に継承することを目的とする。
- 第四条 (事業)**
この会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
(1) 桜の植栽・育成・環境整備等の事業を関係機関と協力して実施。
(2) この会の主旨を一般にアピールする諸事業。
(3) 会報の発行
(4) その他、この会の目的達成のための必要な諸事業。
- 第五条 (会員及び賛助会員)**
(1) この会の主旨に賛同する者を会員とする。
(2) この会の主旨に賛同する団体・企業を賛助会員とする。
- 第六条 (会計)**
この会の会計は、会員の会費及び賛助会員などの寄付金によるものとする。

- (1) 会員の入会費は二千元。年会費は入会した次の年から千円とする。
- (2) 賛助会員の会費は寄付金を充てて。賛助会員の寄付金は年間一口(二万円)以上とする。
- 第七条 (組織及び運営)**
(1) この会には、会長・事務局長・幹事若干名・会計監査を置き、運営委員会とする。
(2) この会は、運営委員会の合議により諸事業を運営し、会員への周知徹底をはかる。
(3) この会の総会は、年一回開催する。
- (4) この会には、名誉会長・相談役・顧問を置くことができる。
- 第八条 (禁止)**
この会は、いかなる政治・宗教の活動に利用されることがあってはならない。
- 第九条 (決算)**
この会の決算は十二月末とする。
- 第十条 (施行)**
この会則は、平成二十二年四月から施行する。

次の百年に向けて

会長
鬼嶋 正之

新潟県には「緑の百年物語緑化推進運動」があります。本会が毎年助成を頂いておりますので会員の皆様はご承知のとおりであります。六月十八日に推進委員会の通常総会がありましたので、会を代表して出席してまいりました。主催者である伊藤文吉理事長（北方博物館館長）が開会にあたり、「木を一本切ったら三本植えるドイツの約束。日本の一昔は十年だが、ドイツは百五十年。その姿勢に学ぶ必要がある」との挨拶をされました。併せて開催された緑化推進セミナーでは、新潟県出身の元林野庁長官・小澤普照氏から「新潟県には、緑の百年物語に相応しいスケールの大きいプロジェクトが欲しい。内向きの発想・行動から脱皮し、明るい未来を予感させる発想と活動を・・・」との激励をいただきました。

ことでありました。奇しくも再来年（二〇一四年・平成二十六年）は、加治川分水路（現在の主流）が完成（一九一四年・大正三年）してから一世紀が経過することになります。ドイツ流に申せばまだ一昔にもなりません。今から百年前の大正元年の冬、当時の加治川水害予防組合の管理者でもあった江口北蒲原郡長は、大正天皇の即位と加治川分水路工事の竣工を記念して堤に桜を植樹する構想を立て、関係方面に熱心に働きかけて実現のための環境を整えます。植樹は、新水路と水門から金竜橋の間とし、樹間は5メートル50センチとします。と「加治川治水・利水誌」にあります。品種は、組合役員間で研究し、太りが早く、花もよく、樹齢も長く・・・という条件に合う「染井吉野」を選定。苗木は東京三田の育苗場へ高さ2メートル10センチ、2メートル40センチの三年生のものを二千五百本発注し、十二月からの植樹作業は十日間で終わつたと記されています。大正四年十一月、大正天皇御即位を記念する記念植樹運動が湧き上がり、加治川流域町村の「旧鴻沼村」や「旧加治村」等々にも気運が盛り上がり、強力な協力者も現れる中、地域の青年団、消防団等の



労力奉仕もあり、植栽の総延長は28キロに亘り、5千余本になったとあります。その後地元篤志家の寄付等により、大正十一年六月二十日「財団法人 加治川保勝会」が設立され、その愛護の下で国内外に冠たる桜の名勝となったのであります。この百年の時の中で、太平洋戦争最中の大量間伐、昭和四十一、四十二年の連年水害後の河川改修による伐採、そして今日の復元運動へと変遷してまいりました。まだ往時の半分にも満たない状況を考えると、先人の偉大さに頭が下がる思いであります。

副会長
二宮 正光

同期のさくら

昭和41、42年の連続水害後の河川改修の際に伐採された加治川の桜を直に見た人は年月が経つにつれて少なくなってきたが、二王子岳を背景に、数千本に及ぶ大木の桜が兩岸から川を覆いかぶさるように咲きほこつた美しさは忘れられない。

特に石造りの水門と三角島付近は清き水の流れと相俟って正に絶景であった。戦時中はこの桜を眺めてから戦地に赴いた兵士もいたという。ぱつと咲いて潔く散る桜の花と自分の命を重ね合わせていたのかも知れない。

桜の木は大正天皇ご即位と加治川の大改修を記念して植えられたものと言われているが、加治川分水路の建設には人海作戦によつて土木工事

新・事務局長就任して！

事務局長
山宮 義正

が行われた。掘り込みが途中まで進んだ時、不意の豪雨で水が溢れてきたので、これ幸いとばかり水の勢いにまかせて一気に海まで突き抜ける分水路が完成した。そのため、予定の場所と多少違うところに水路ができてしまったが、当時はあまり問題にもされなかったようだ。100年前の話である。

同じ頃、東京市（当時）の尾崎行雄市長が米国首都ワシントンに桜の木を寄贈した。しかし、最初の2千本は害虫がつき、現地で焼却処分されたので2年後に再び3千本の桜の木を贈つたといわれる。現在3,770本あるポトマック川沿い一帯の桜には毎年百万人の花見客が訪れ、日米友好セレモニーが行われている。現地では100年前に植えられたものも老木ながら何本か残っていると

いう。加治川堤にも伐採を免れた昔の桜の木がたった1本だけ残っている。これらの桜は共に100歳の同期の桜ということになる。

タイタニック号の遭難も100年前の出来事、歴史の偶然を感じざるを得ない。

最初の仕事として、1月に市嶋初代会長、木村前会長、鬼嶋新会長、長谷川新副会長と共に、新発田市長及び各部課長、県新発田地域振興局長及び各部課長、聖籠町長及び各部課長、関係諸団体、そして今年の花見ウォーク参加4学校長、演奏をお願いする新発田中央高校長及び、吹奏楽部顧問の先生等、表敬訪問、新任の挨拶を致しました。

その後、市観光振興課を再度訪問し、課長及び担当者の方に協力応援等をお願い方々準備を進め、又、木村前会長、神田前事務局長宅を訪ね、引継ぎ事項等お教え頂き、新スタッフと会議を重ね、4月21日(土)、「加治川治水記念公園」で恒例の加治川クリン&ウォーク改め「加治川花見ウォーク」を開催することが出来ました。当日は、まれにみる好天のもと、ウォーク出発式、歓迎式典（アトラクション）、「記念植樹を行い、終了後、場所を移し、割烹志まや様で、総会・花見の宴を、盛況で無事

終えることが出来ました。

会員諸先輩の皆様、県及び市・町の各部課署、関係諸団体多くの方々にご協力・ご助成を頂き、心より感謝を申し上げます。

その後、振返って反省しますと、今後の開催に向け、色々と修正しなければならぬ事が多々ありますが、より良く、より多くの皆様方に、ご参加いただけるよう、努力してまいります。今後共宜しくお願い致します。

豊かな自然を愛し育む心が
次世代に繋がる事務局次長
鈴木 光子

このたび運営委員という役を仰せつかった鈴木と申します。どうぞ宜しくお願い致します。私は縁あって栃木県芳賀町から嫁いで、早四十二年が過ぎました。昭和四十五年の春の事、当時の桜並木を職場の方が昼休みに見せてくださった情景と感動が今でもしっかりと記憶にあります。「もつとすごかったんだよ。東洋一と言われてたんだよ」の説明にいつか両親にこの桜を見せてあげたいと

けて「日本一・東洋一・世界一の桜の里づくり」の目標を皆で力を合わせて立てられないものだろうか・・・緑の百年物語推進運動を掲げる新潟県のモデルとして・・・。

思つたものです。以来今は亡き故郷の両親を思い、加治川の清らかな流れと遠方に見える飯豊連峰と右岸左岸の桜の並木に毎年のごとく安らぎの場所と生きている喜びを感じる場所として何回か足を運びます。今年も元気で頑張ろうと自分自身に活力を与えてくれる場所です。一人であるいは仲間と、また遠方からお出でくださる仲間を案内する自慢の場所です。役になり初めて知る大先輩の方々のアイデアとこれまでの並々ならぬ苦勞が少しづつわかって来ました。鬼嶋会長との雑談の中で、今ある桜並木の間に若木を植えていかないと五十年後に間に合わない事をお聞きし頭が下がります。まだまだ知識もなく、微力ではありますが女性の立場として何が出来るか？皆様方にお知恵をいただきコツコツと支援の輪を広げていきたいと思ひました。この川、桜、山々、そして素晴らしい人々の温かさを生かして次の世代に私達が感動し取組んでいる事を次の世代の方に見せていく行動が必要だと思ひます。この会は豊かな心を育む素晴らしい仲間です。一人でも多くの賛同者が増えますように！



歓迎式典の司会

飛入り演奏

当日は、市観光振興課及び地域整備課維持管理係の皆さん、そして県地域振興局の皆さんの応援、誠に有難うございました。

「アトラクション」

同じ治水公園内、「特設ステージ」で、たかたかし名誉会長より、歓迎の挨拶があり、①石井愛さんと共に歌おう！で皆さんと合唱（約20分）、②新発田中央高校吹奏楽部の演奏で楽しみ（約30分）、③運営委員、風間和好氏による飛入りでのギター演奏&歌（約10分）で盛況の内で終了！



お笑い集団NAMARA

事務局より

「記念植樹」

アトラクション終了後、同公園内敷地で、桜苗木2本を、役員、ご来賓の方々、参加4小学校の児童代表の皆さんで、記念植樹を行いました。

「総会・花見の宴」

行事全て終了後、場所を市内の割烹「志まや」に移し、午後2時より、総会（約15分）、引き続き、花見の宴を催しました。出席者52名、加藤県新発田地域振興局長に挨拶を賜り、高橋公則顧問の乾杯の音頭で開宴。スピーチの後、トークショーで、お笑い集団「NAMARA」の江口氏、中静氏の軽妙なトークで場内大いに盛り上がり、大盛況で打ち上げることが出来ました。尚、江口、中静の両氏より、加治川を愛する会に賛同いただき会場内で入会金を頂戴し、会員になっていただきました。



記念植樹



花見の宴

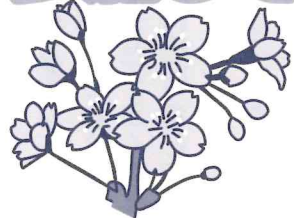
ぼくは、母にさそわれて初めて参加しました。六年生は、ぼく一人かなと思っていました。バスが出発するときに、友だちがきました。友だちがバスに乗った後、出発しました。三十分くらいたったとき、加治川治水記念公園に着きました。

ごみ袋をもらって、加治川の堤を歩きながら、ゴミを拾いました。ぼくは、空きカンを五個拾いました。ゴミは意外に多かったです。加治川の桜を守ってくださっている方々がたくさんいるのに、どうしてポイ捨てをする人がいるのだ

新発田市立
天王小学校6年
藤田 裕亮

初めての
加治川花見ウォーク

加治川花見
ウォークに
参加して



石井 愛

「歌を通して
伝えたい」

加治川。飯豊連峰を源に発するこの川は古来より豊かな大地の恵みを与えてくれています。春になると土手沿いは数多くの桜が咲き、見事な桜並木となります。雪化粧の飯豊山をバックにした清流加治川の桜。私はこの白・青・ピンクの大自然に囲まれた景色がとても好きです。元々、私は子供の頃から川や山で遊ぶ事が好きでした。現在でも小鳥のさえずり、水や土の匂いに出会うと昔大自然の中で遊んだ記憶が蘇ってきます。大人になり音楽の練習で都会に行く事が多くなりました。出発する時は勇んで上京するのですが、いざ都会のど真中に立つと人混みで目が回り、道ゆく人々の通行妨害になる事もしばしばです。きつと都会は私には高度過ぎる場所なのかもしれません。

こんな私は春になると愛犬を連れて加治川の桜並木を散歩します。

すがすがしい川のせせらぎを聞きながら満開の桜の下、元気に走り回る愛犬を見てみると「いつまでもこの素晴らしい景色を残していきたい」という思いが募ってきます。幸運にも「加治川を愛する会」にお誘いを頂き発足と同時にメンバーの一員になりました。「メンバー」として加治川の美しさ、自然の大切さを私らしく後世を引き継ぐ子供達に伝えていくにはどのような方法があるのだろうか？「色々考えてみました。子供達を集めて話をする。イヤ：私は話す事が苦手。ならば毎日子供達とゴミ拾いをさせてきれいにする、ん：毎日となるとこれも限界がある。このように考えた私が最終的に行きついたのが歌の力を借りる事でした。毎年4月に行われる「加治川お花見ウォークアトラクション」の中で参加者の皆さんと桜の歌を一緒に歌う指揮をとらせて貰っています。大きな声で歌うと心が豊かになる。心が豊かになれば環境を守る気持ちが湧いてきます。加治川の桜を守る子供達の力がやがて地球を守る勇気になれる様に私はこれからも歌を通してメッセージを送り続けようと思っています。



石井愛さんと歌う！



今年の「加治川花見ウォーク」！

先輩から引継いだ「加治川を愛する会」のメイン行事である「クリーン&ウォーク」を、新役員で協議し、たかたかし名誉会長の同意も得て、表記の「加治川花見ウォーク」と改称致しました。主旨は従来のクリーン作戦を継承しつつ、より多くの方々に、加治川の桜を、観に来て頂けるよう、桜の花を愛でる「ウォーク」を強調し、「加治川花見ウォーク」と改称した次第です。

4月21日(土)当日は、素晴らしい天気にも恵まれました。治水記念公園での出発式後、A、B、C、3コースに分かれてスタート。先導の下、4小学校（天王小、紫雲寺小、米子小、蓮野小）の生徒さん、先生方、会員及び一般参加の皆さん、そしてイオングループ（新発田店・胎内店）、新発田信用金庫の皆さんと大勢の方々に参加頂き、桜の花を愛でながらクリーン作業も行っていました。

11時から始まる「アトラクション」に間に合うよう、会場の治水記念公園に戻り、花見ウォークを終了しました。

加治川花見ウォークの感想



聖籠町立
蓮野小学校6年
本田 幸希

4月21日(土)、ぼくは加治川花見ウォークに参加しました。そこでの活動内容は、ゴミ拾いと桜の木を植えることでした。加治川にさいている桜はとても



良く日が当たるところはきれいに咲いていましたが、日当りの悪いところはまだつぼみでした。たくさんさくらの木が満開になるのが楽しみだなと思いました。ごみが落ちていない加治川で、きれいなさくらを見ながら友達とゆっくりと歩くことができたので参加して良かったです。



きれいだなと思いました。でも、その周りにはたくさんのゴミが落ちていて、ぼくはすぐおどろきました。そしてゴミを拾いながら、ゴミのポイ捨てはぜったいにしないぞと思いました。ゴミ拾いの後に、参加者全員で合唱したり合奏を聞いたりしました。きれいな音色でした。最後に参加者の代表の人達が桜の木を植えました。早く、大きくなってきれいな桜がさく木になってほしいです。

加治川花見ウォーク



新発田中央高校
吹奏楽部3年
指揮者 佐藤七海

私は、初めて加治川クリーン&ウォークに参加しました。個人としてでなく、新発田中央高校吹奏楽部として演奏させていただけました。三年生にとっては最初で最後の参加となります。

加治川クリーン&ウォークに参加するために、たくさん練習をしました。選曲など全て生徒で決め、パートごとや個人で練習し、時間がある時には合奏を行ないました。先生が用事でいない時の合奏は全部自分達でやり、意見交換をします。私は今、学生指揮者という立場にいて、前に出て合奏をします。この会のための合奏でうまくできないことが何度もありました。だんだんと日時が近くなるにつれて、私自身もあせり、みんなの音も飛んで来ず、大変でした。しかし、それはなくなり、良くなってきました。先生がいけない時に自分たちだけで完成に近づけた曲が1曲あり、それを先生に聞かせた時「何か自分達でしたのは違うね。」と



言われた時は嬉しかったです。他の曲もみんなでお客様に聞かせるようにイメージしながら練習しました。当日になり、学校で積み込みをしている時は楽しみなのと、大丈夫かなと不安が混ざってました。場所について、イスを並べ、アトラクションで歌を歌って私たちの出番になりました。目の前には私が想像していたよりもたくさんの人がいらつしゃって、驚きました。でも、たくさんの方がいる分いつも以上に一生懸命演奏できたと思います。ありがとうございます。

たくさん歩いた花見ウォーク



新発田市立
紫雲寺小学校5年
橋本 海音

ろうと不思議に思いました。ポイ捨ては、あらためて良くないことだと思いました。ぼくは、活動の最後に、桜の木の植樹をしました。米子小学校、紫雲寺小学校など、他の小学校の代表の人といっしょに苗木に土をやりました。初めての植樹で、少し緊張しました。でも、きれいな桜が咲いてほしいと思いました。植樹が終わってからは、記念写真を撮って帰りました。ぼくは、今回のクリーン&ウォークに参加して、いつまでも、美しくきれいな加治川であってほしいと強く感じました。機会があったら、またこのイベントに参加したいと思いました。



「花見ウォークで早く歩きたいね。」と公園に来ていた人たちは、心はずませながら話をしていました。私は今年、桜ロードの清掃に参加しました。集まったらすぐに清掃開始です。歩くとすぐに、たくさんカンやごみがおちていたので、「ひどい自然はかいだ。」と思いました。少しでもきれいにしようと思いながら、歩きつづけていると、桜がさいていました。その桜は、ピンクのつぼみがたくさんあって、きれいでした。

一時間ぐらいで記念公園につきました。私は「きれいにできた。」という達成感を感じました。参加してよかったです。清掃の後に、石井愛さんと一緒に歌を歌いました。石井愛さんは、とてもきれいな歌声で感動しました。次に、中央高校の人達が、クラリネットや、フルートなどの楽器

を使って、合奏をしていました。福山まさはるの家族になろうよやスマップの世界に一つだけの花など、有名な曲を合奏うして、「素敵だなあ。」や「私もフルートなどをふいてみたいなあ」と思いました。私にとっては、楽しい一日になりました。来年は、もっと多くの友達と歩いてみたいです。



加治川花見ウォークに参加して



新発田市立
米子小学校5年
中山 史乃

4月21日にわたしは、初めてからウォークに友達と参加しました。その日はすごく良い天気で、楽しみにしながら治水公園に行きました。

少し早く着いたので、ワクワクしながら友達を待っていました。友達が出来てから大ぜいの人が集まってきました。みんなが集合したので、いよいよ出発!!

歩き出してみをさがしたら、ごみがぜんぜんありませんでした。でも、それは良いことだと思いました。歩いていく人は、きれいなさくらを見るために、ごみを落とさないようにしているんだなあと思いました。

ごみが落ちていなかったのも、きれいなさくらや景色をたくさん見ることができました。さくらは、きれいで満開に咲いているところと、まだ少しつぼみのところもありました。さくらは一時間ごとにどんどん花が開いていくと、参加していた人が話していました。